

日薬発第95号  
平成17年7月8日

都道府県薬剤師会会長 殿

日本薬剤師会  
会長 中西 敏夫

## 平成16年度「薬と健康の週間」における全国統一事業結果の報告 並びに一般用医薬品の提供に係る服薬指導の充実・徹底について

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、貴会並びに貴会傘下の会員薬局・一般販売業の先生方のご協力を賜り、昨年10月17日～23日に実施した「薬と健康の週間」における全国統一事業の結果がこの程まとめられましたので、ご報告申し上げます。

平成16年度の「薬と健康の週間」では、全国統一事業として 薬局・一般販売業における事業（一般用医薬品提供時の“薬剤師の相談業務”に関するデータ及び相談事例の収集）と、 薬剤師会における事業（イベント会場での「お薬相談」の実施等）を行いました。 の事業には7,563軒の薬局・薬店に参加いただき、その結果約4万件の相談事例が収集されました。また、 の事業については、232カ所の薬剤師会で延べ349回のお薬相談が開催されました。本事業へのご協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。

調査結果の概要は〔別紙1〕のとおりですが、調査結果からは、薬局・薬店の薬剤師が一般用医薬品の提供に際して必要な情報提供や服薬指導を行った上で、患者からの質問や相談に応じている実態が明らかになりました。また、患者からの一般用医薬品による副作用の相談に対しても、薬剤師がその症状により使用の中止を指示したり、医療機関を紹介するなどの適切な対応をとっていることも明確にできたものと思われまます。

一般用医薬品は、一般の人が自覚症状に基づき自己の判断で使用するものですが、今回の結果を見ますと、薬局等の薬剤師はその供給に際し、実に様々な相談や質問を受けており、特にH<sub>2</sub>ブロッカーなどスイッチOTC薬の供給に当たっては適切な服薬指導を行っています。これらからも、一般用医薬品の供給には医療用医薬品の知識と経験を持つ薬剤師が、適切な情報提供や助言を行うことが重要であると考えます。

今回の調査結果につきましては、日薬誌8月号及び本会ホームページで紹介するとともに、一般用医薬品に関する規制改革に反対する上での資料として活用することといたします。

本会では、今後とも必要な施策を推進していく所存ですので、貴会におかれましても、会員薬局等における一般用医薬品提供時の服薬指導の充実・徹底につき、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

別紙1：全国統一事業の結果（概要）

別紙2：「薬と健康の週間」中の任意の1日に受けたH<sub>2</sub>ブロッカーに関する相談等

別紙3：薬局・薬店での一般用医薬品に関する相談事例のまとめ

参 考：全国統一事業の結果（平成15・16年度対比表）

## 別紙 1

# 平成 16 年度「薬と健康の週間」 における全国統一事業の結果（概要）

平成 17 年 7 月  
（社）日本薬剤師会

平成 16 年度の「薬と健康の週間」（平成 16 年 10 月 17～23 日）では全国統一事業として、

- ・薬局・薬店における事業（一般用医薬品販売時の“薬剤師の相談業務”に関するデータ及び相談事例の収集）
- ・薬剤師会における事業（各種イベント会場での「お薬相談」の実施）

を行いました。

この程、その結果（概要）がまとまりましたので、ご報告いたします。

### ・薬局・薬店における事業（一般用医薬品販売時の“薬剤師の相談業務”に関するデータ及び相談事例の収集）

平成 16 年度の全国統一事業には7,563軒の薬局・薬店が参加し、参加薬局・薬店において、1日当たり約14万6千人が一般用医薬品を購入し、このうち約4万人が何らかの相談・質問を行ったことが明らかになりました。

これを全国の薬局・薬店数62,036軒（平成 15 年度末）に当てはめると、全国の薬局・薬店では1日平均119万7千人が一般用医薬品を購入し、そのうち33万3千人が何らかの相談・質問を行っていることとなります。この数字は、一般用医薬品の販売に際して、薬局・薬店の薬剤師が必要な情報提供や服薬指導を行った上で、患者からの質問や相談に答え医薬品の適正使用に貢献していることを実証するものであると考えられます。（表 1）

〔表 1〕薬局・薬店における一般用医薬品に関する相談・質問の状況

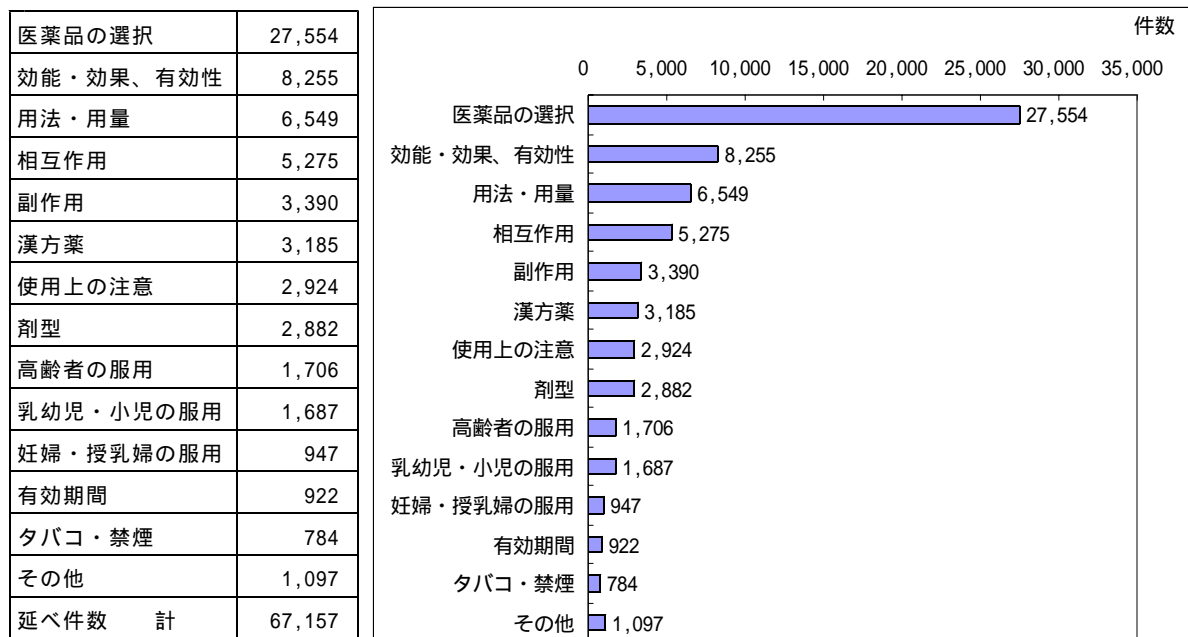
参加薬局・薬店数	7,563軒
1日当たりの一般用医薬品購入者数	145,989人
一般用医薬品購入者数のうちの相談・質問者数	40,571人

注 1) 各薬局・薬店には「薬と健康の週間」中の任意の1日についての報告を求めているため、調査結果は1日当たりの平均のもの。

注 2) 参加薬局・薬店数は1件以上の結果報告を提出したものの。

一般用医薬品についての相談事例を内容別にみると、「医薬品の選択に関するもの」が27,554件と最も多く、一般用医薬品について相談をした延べ67,157件の41.0%を占めています。次いで、「効能・効果、有効性に関するもの」8,255件（同12.3%）、「用法・用量に関するもの」6,549件（同9.8%）、「相互作用に関するもの」5,275件（同7.9%）、「副作用に関するもの」3,390件（同5.0%）、「漢方薬に関するもの」3,185件（同4.7%）、「使用上の注意に関するもの」2,924件（同4.4%）、「剤型に関するもの」2,882件（4.3%）などが多くなっています。（表 2、図 1）

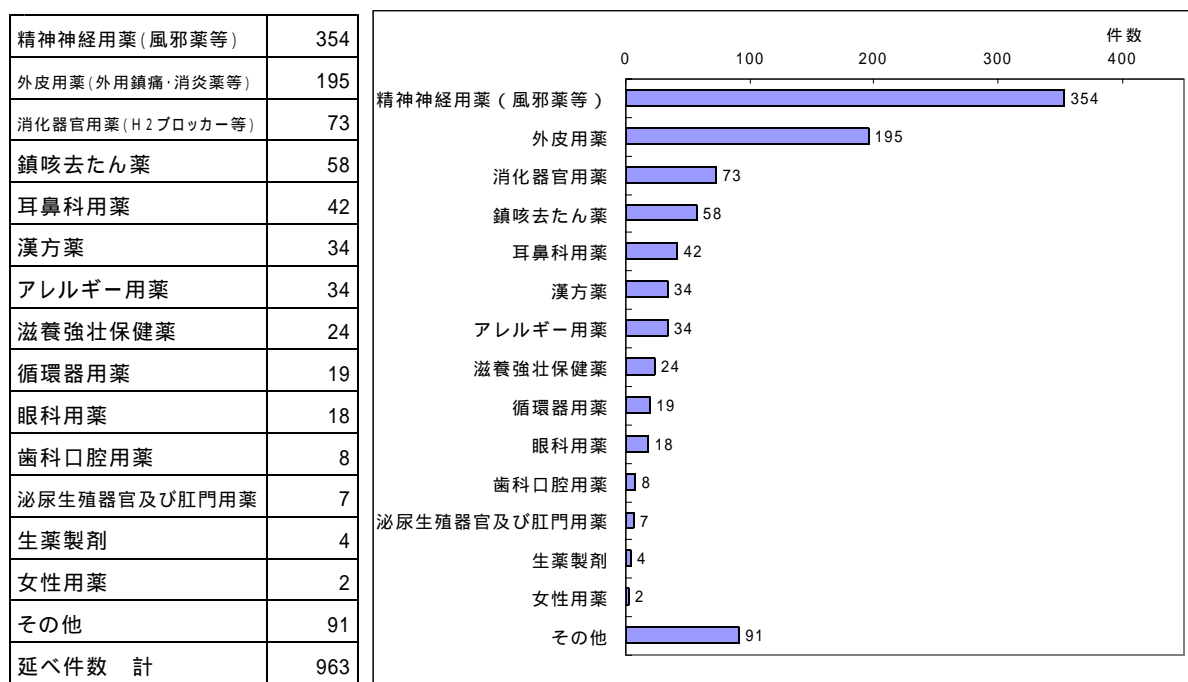
〔表2〕〔図1〕一般用医薬品に関する相談・質問の内容別内訳（複数回答）



次に、副作用の報告のあった相談事例・全3,390件のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明した963件を「薬効分類別」にみると、最も多かったのは風邪薬の169件でした。以下、解熱鎮痛薬132件、外用鎮痛・消炎薬97件、鎮咳去たん薬58件などが多くなっています。

ただし、これらの件数は副作用の発生率を表すものではなく、もともとの使用量の多さが報告件数の多さを反映しているものと考えられます。（表3、図2）

〔表3〕〔図2〕副作用の相談のあった一般用医薬品の「薬効分類別」件数

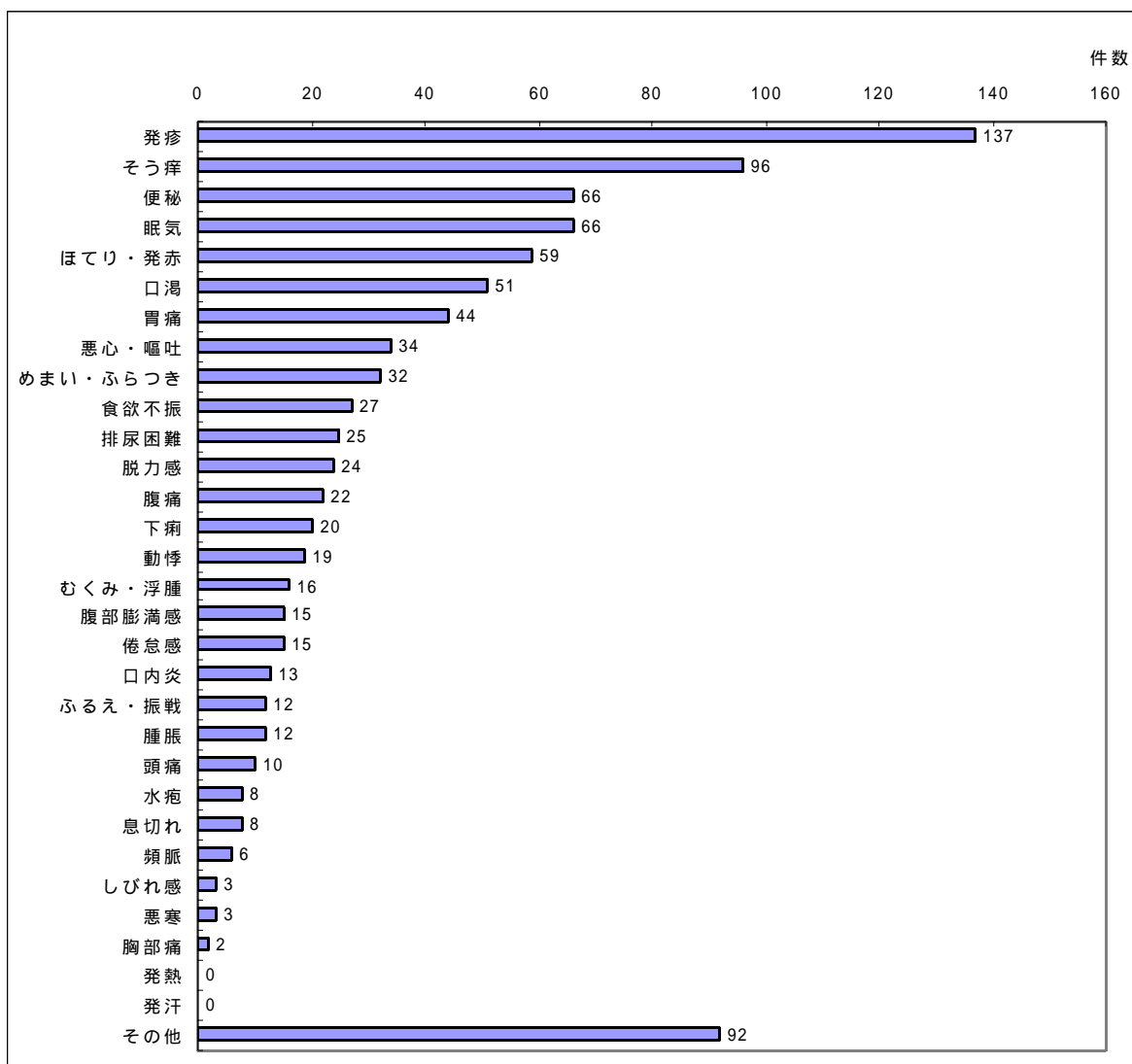


一方、患者等から相談のあった「副作用の主な症状」(複数回答)を見ると、「発疹」が137件(延べ件数、以下同じ)と最も多く、以下「そう痒」96件、「便秘」66件、「眠気」66件、「ほてり・発赤」59件、「口渇」51件、「胃痛」44件、「悪心・嘔吐」34件、「めまい・ふらつき」32件などの順となっています。

ただし、これらの件数は副作用の発生率を表すものではありません。(表4、図3)

〔表4〕〔図3〕副作用の主な症状(複数回答)

発疹	137	そう痒	96	便秘	66
眠気	66	ほてり・発赤	59	口渇	51
胃痛	44	悪心・嘔吐	34	めまい・ふらつき	32
食欲不振	27	排尿困難	25	脱力感	24
腹痛	22	下痢	20	動悸	19
むくみ・浮腫	16	腹部膨満感	15	倦怠感	15
口内炎	13	膨脹	12	ふるえ・振戦	12
頭痛	10	水疱	8	息切れ	8
頻脈	6	しびれ感	3	悪寒	3
胸部痛	2	発熱	0	発汗	0
その他	92	延べ件数 計	937		



上記の「副作用の相談のあった一般用医薬品の『薬効分類』件数」と「副作用の主な症状の件数」の相関、すなわち、どのような一般用医薬品でどのような副作用の発現が疑われたのかをみると、多い組み合わせは下記のとおりでした。(表5)

〔表5〕副作用の相談のあった一般用医薬品の「薬効分類」と「副作用の主な症状」

風邪薬(169)	眠気(24)、発疹(22)、便秘(16)、口渇(14)、排尿困難(13)、そう痒(7)、倦怠感(7)、悪心・嘔吐(6)、めまい・ふらつき(6)、脱力感(6)、胃痛(5)
解熱鎮痛薬(132)	胃痛(20)、発疹(16)、悪心・嘔吐(11)、食欲不振(7)、腹痛(7)、眠気(7)、そう痒(6)、めまい・ふらつき(5)
外用鎮痛・消炎薬(97)	そう痒(29)、発疹(25)、ほてり・発赤(20)、脱力感(3)、水疱(2)、むくみ・浮腫(2)、ふるえ・振戦(2)
鎮咳去たん薬(58)	便秘(29)、口渇(7)、めまい・ふらつき(4)、発疹(3)、食欲不振(2)、眠気(2)、排尿困難(2)
外皮用薬(46)	発疹(14)、そう痒(11)、ほてり・発赤(9)
耳鼻科用薬(42)	口渇(10)、眠気(10)、便秘(2)、排尿困難(2)
水虫・たむし用薬(38)	ほてり・発赤(11)、そう痒(9)、発疹(6)、水疱(3)、膨張(2)
精神神経用薬(34)	めまい・ふらつき(5)、眠気(5)、発疹(3)、口渇(3)、脱力感(3)、そう痒(2)、食欲不振(2)、倦怠感(2)、動悸(2)
漢方薬(34)	むくみ・浮腫(3)、胃痛(3)、頭痛(3)、動悸(3)、ほてり・発赤(2)、腫脹(2)、悪心・嘔吐(2)、食欲不振(2)、脱力感(2)
H <sub>2</sub> ブロッカー(32)	腹痛(4)、発疹(2)、むくみ・浮腫(2)、悪心・嘔吐(2)、腹部膨満感(2)、ふるえ・振戦(2)

注) 1.( )内の数字は報告件数

2. 副作用の症状は相談の件数の多かった主なもののみ掲載

なお、これら副作用の発現に対しては、以下のように薬局・薬店の薬剤師が適切な措置をとり、対応していることが明らかになっています。(表6、図4)

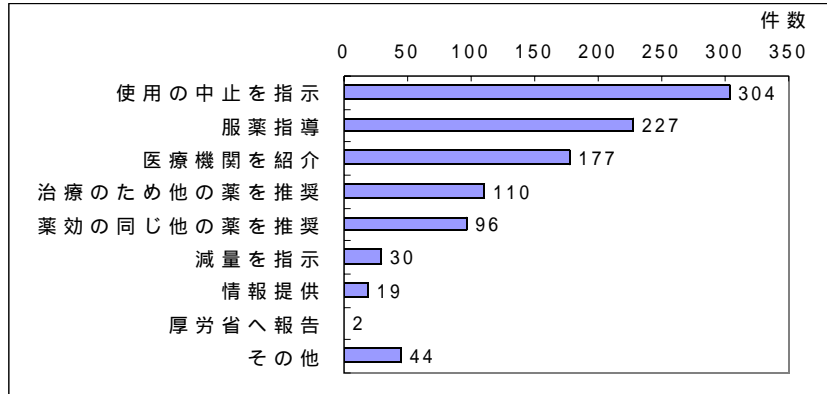
具体的に「相談のあった副作用の症状」と「薬剤師のとした措置」との相関をみると、皮膚に症状(発疹、そう痒、発赤など)が発生した場合に、薬剤師が「使用の中止を指示」したり、「医療機関を紹介」するなどの対応をとっているケースが多数見られました。これは、スティーブンス・ジョンソン症候群や中毒性表皮壊死症などの重大な副作用の初期症状を疑い、薬局・薬店の薬剤師が適切な対応をとっている例であると言えます。また、「胃痛」、「悪心・吐き気」などの消化器系の症状の相談があった場合にも、同様の対応がとられていることが、調査結果から明らかになっています。

また、例えば、便秘薬の購入を希望した患者に薬剤師がよく話を聞いてみると、中枢性鎮咳薬(リン酸ジヒドロコデイン含有)を服用中であつたため、一般用医薬品を販売せず、「服用を中止すれば改善することを説明した」との例も多数報告されました。このように、薬剤師が「重大な副作用の可能性は低い」と判断し、服薬指導等により対応したケースも類似する事例も含め多数報告されています。

なお、「副作用の相談」として報告された事例の中には、いわゆるセルフ販売の薬店等で、自身の症状に合わない一般用医薬品を選んで購入・使用し、症状が悪化したケースも含まれています。

〔表6〕〔図4〕薬剤師のとした措置（複数回答）

使用の中止を指示	304
服薬指導	227
医療機関を紹介	177
治療のため他の薬を推奨	110
薬効の同じ他の薬を推奨	96
減量を指示	30
当該メーカーへ連絡、情報提供	19
厚生労働省へ報告	2
その他	44



## ・薬剤師会における事業（「お薬相談」の実施）

薬剤師会における「お薬相談」については、「薬と健康の週間」中に延べ232ヶ所の薬剤師会（支部薬剤師会を含む）において延べ349回行われました。内訳は、都道府県主催のものが36回、支部薬剤師会主催のものが313回で、「お薬相談」を実施した支部薬剤師会は204支部でした。（表7）

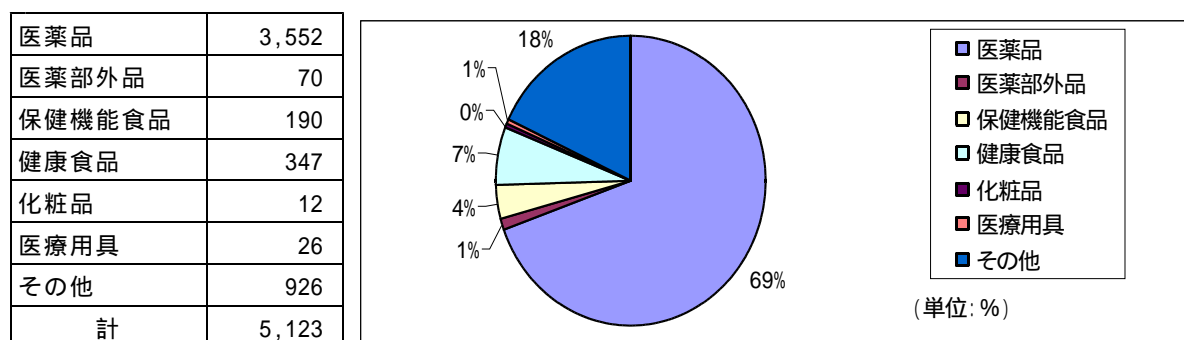
〔表7〕「お薬相談」の実施件数

	都道府県薬剤師会	支部薬剤師会	計
実施した薬剤師会	28ヶ所	204ヶ所	232ヶ所
延べ実施回数	36回	313回	349回

参考：地域支部薬剤師会は全部で744支部

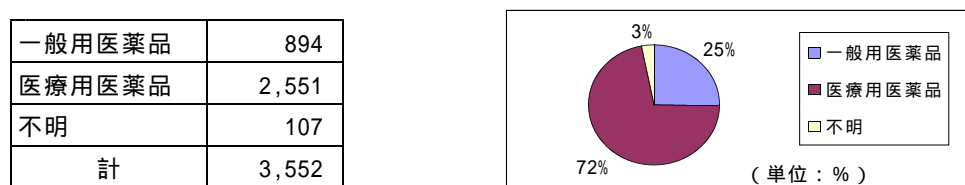
延べ349回の「お薬相談」で受け付けた5,127件の相談事例を、質問・相談の内容別にみると「医薬品に関するもの」が3,552件（全相談件数の69.3%）と最も多く、いわゆる健康食品347件（同6.8%）、保健機能食品190件（同3.7%）などが多くっており、医薬部外品、医療用具（現在は医療機器）、化粧品等に関する相談は比較的少数でした。（表8、図5）

〔表8〕〔図5〕相談・質問の内容



さらに「医薬品」に関するものの内訳をみると、「医療用医薬品」が2,551件（医薬品に関する相談件数の71.8%）、「一般用医薬品」が894件（同25.2%）で、「不明」は107件（同3.0%）でした。（表9、図6）

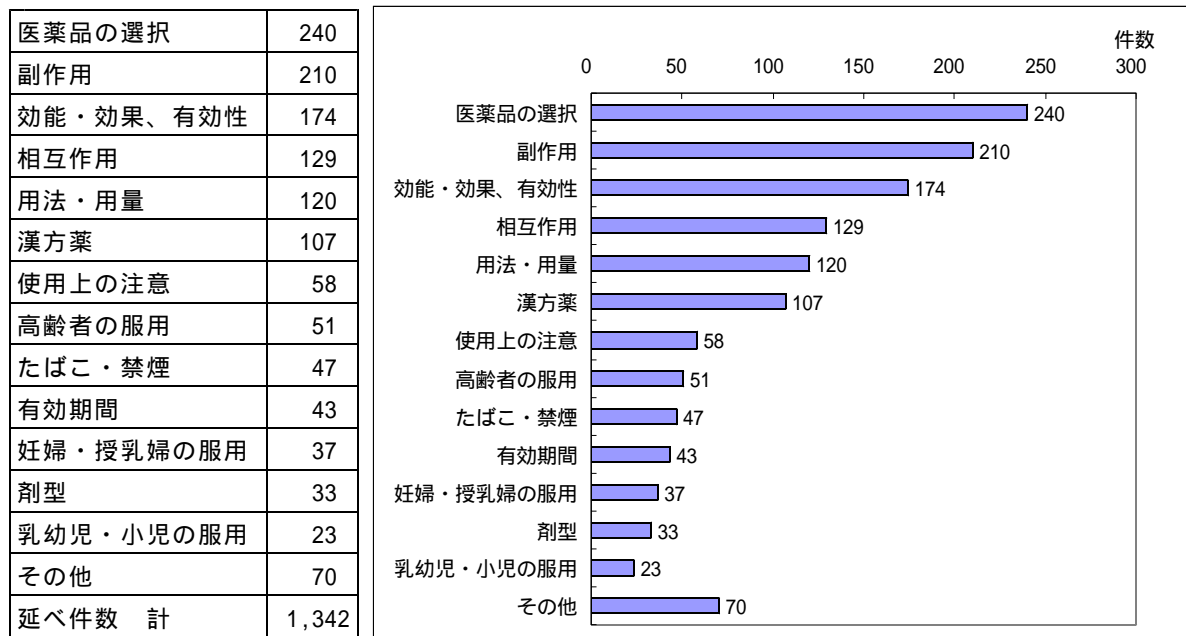
〔表9〕〔図6〕医薬品についての相談の内訳



「一般用医薬品に関する相談・質問」を、相談内容別にみてみると、「医薬品の選択に関するもの」が240件（一般用医薬品についての延べ総相談件数1,342件の17.9%）と最も多く、以下、「副作用に関するもの」210件（同15.6%）、「効能・効果・有効性に関するもの」174件（同13.0%）、「相互作用に関するもの」129件（同9.6%）、「用法・用量に関する

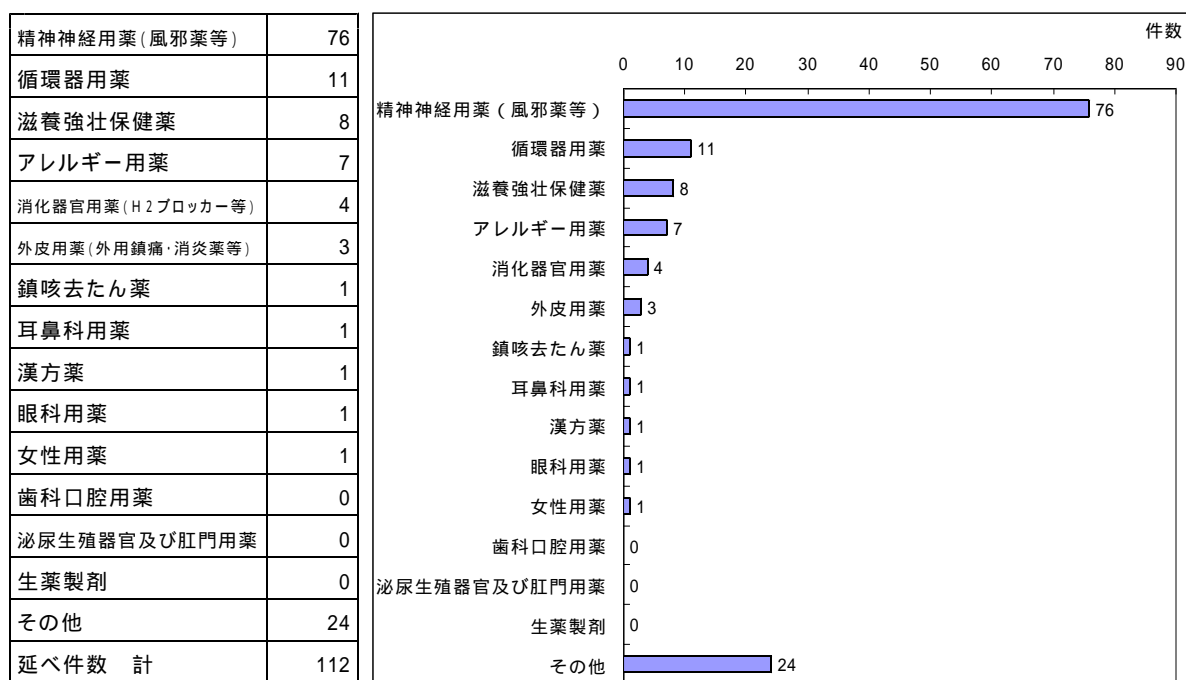
もの」120件（同8.9%）、「漢方薬に関するもの」107件（同8.0%）、「使用上の注意に関するもの」58件（同4.3%）などが上位を占めました。（表10、図7）

〔表10〕〔図7〕一般用医薬品に関する相談・質問の内容別内訳（複数回答）



次に、副作用の相談のあった一般用医薬品を「薬効分類別」にみると、最も多かったのは風邪薬の34件でした。以下、解熱鎮痛薬23件、循環器用薬11件、その他の精神神経用薬10件などが多くなっております。ただし、これらの件数は副作用の発生率を表すものではありません。（表11、図8）

〔表11〕〔図8〕副作用の相談のあった一般用医薬品の「薬効分類別」件数

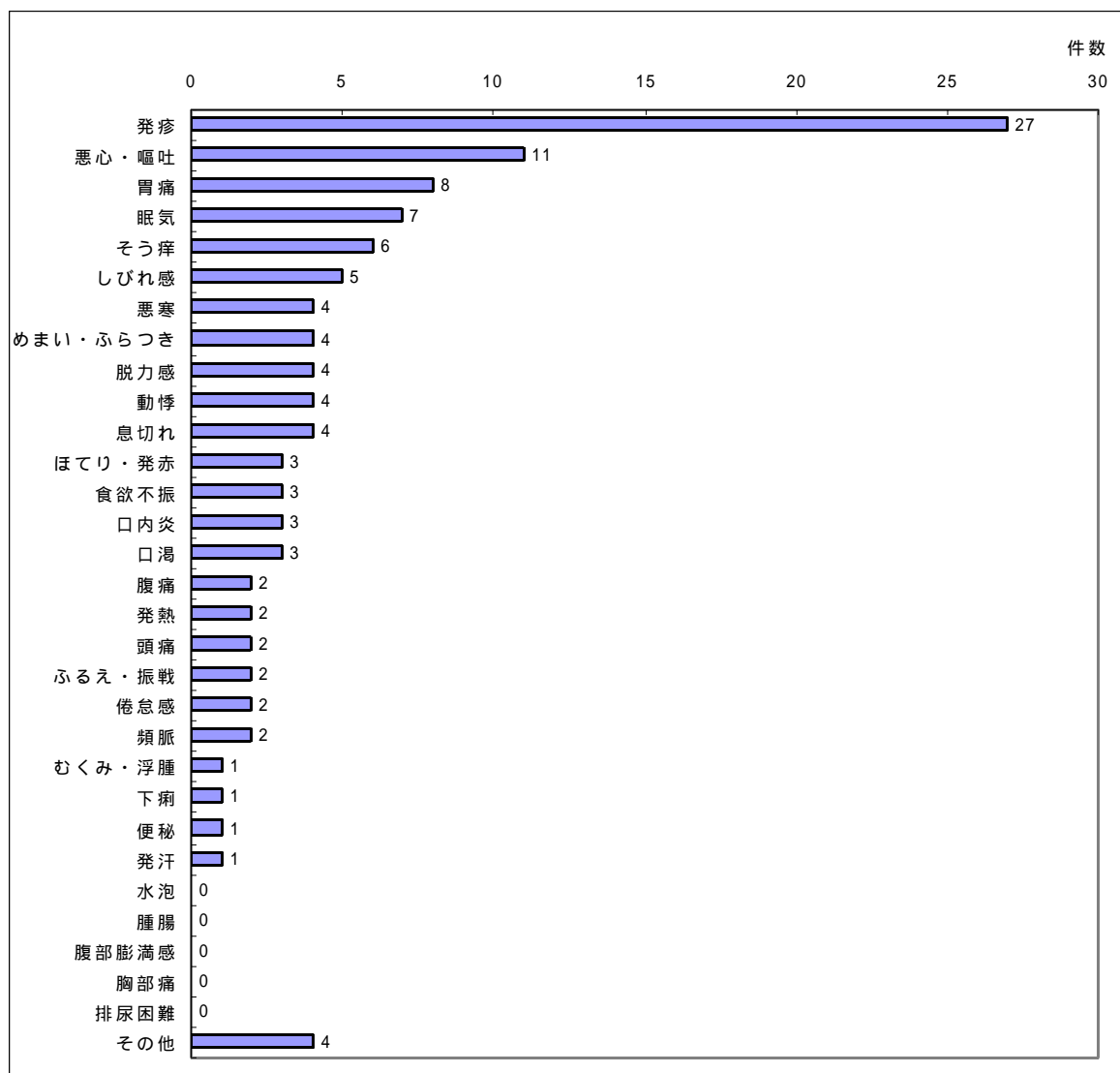




一方、相談者から相談のあった「副作用の主な症状」(複数回答)をみると、「発疹」が27件(延べ件数、以下同じ)と最も多く、以下「悪心・嘔吐」11件、「胃痛」8件、「眠気」7件などが多くなっています。(表12、図9)

〔表12〕〔図9〕副作用の主な症状(複数回答)

発疹	27	悪心・嘔吐	11	胃痛	8
眠気	7	そう痒	6	しびれ感	5
悪寒	4	めまい・ふらつき	4	脱力感	4
動悸	4	息切れ	4	ほてり・発赤	3
食欲不振	3	口内炎	3	口渇	3
腹痛	2	発熱	2	頭痛	2
ふるえ・振戦	2	倦怠感	2	頻脈	2
むくみ・浮腫	1	下痢	1	便秘	1
発汗	1	水疱	0	腫脹	0
腹部膨満感	0	胸部痛	0	排尿困難	0
その他	4	延べ件数 計	116		



## まとめ

今回の全国統一事業では、薬局・薬店の薬剤師が、一般用医薬品の提供に際して必要な情報提供や服薬指導を行った上で、患者からの質問や相談に答えている実態を数字として明らかにできたものと考えます。

また、数字には表れていませんが、全国統一事業では、商品の指名買いの患者に対して薬剤師がよく話を聞いたところ、指名した商品が適当ではなかったケース、連用傾向がある患者に販売を行わなかったケース、薬剤師が「一般用医薬品での対応は難しい」と判断し、一般用医薬品は販売せずに医療機関への受診を促したケース、最小包装単位を優先して販売したケース、一般用医薬品の販売後に電話で相談を受けたケース、他の薬局・薬店で購入した一般用医薬品や配置薬等について相談を受けたケースなども、多数報告されています。

さらに、患者からの「一般用医薬品によると思われる副作用」の相談に対して、薬剤師がその症状等から判断し、使用の中止を指示したり、医療機関を紹介する等の対応をとっていることも、明確にすることができたものと思われれます。

本会では、今後とも一般用医薬品販売時の情報提供や相談業務の一層の充実に向けて、必要な施策を推進していく所存です。

平成16年度「薬と健康の週間」中の任意の1日に薬局・薬店で受けた  
H2ブロッカーに関する質問・相談

《医薬品の選択について》

年齢	性別	薬局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
20-30	女	最近、胃に痛みを感じるのだが何か良い薬はないか。	H2ブロッカーと胃壁の保護剤の両方を紹介し、各々の薬効と特徴を説明。胃壁の保護剤を購入。
60-70	女	約1週間程、水以外の飲料水を飲むと喉がヒリヒリする。また、胃にむかつき等があり、何か良い薬を紹介してもらいたい。	早急な症状の改善を求めたことからガスター（10）を2日間くらい服用するよう勧め、改善が見られないならば医師の診察を受けるよう指示。
40-50	男	空腹時に胃が痛むのだが、何か良い薬はないか。	口の中に酸っぱい感じや胸焼けがひどい等の症状があれば、ガスター（10）などのH2ブロッカーを選び、痛みがひどい場合にはブスコパンを選ぶことが良いと説明。どちらにしても、症状がひどい場合には医師の診察を受けることを勧めた。
60-70	男	胃が痛いので、どの薬が良いのか教えて欲しい。	胸焼けがするとのことなので、H2ブロッカーを勧め、使用上の注意などを説明する。
40-50	男	夜、眠るときに胃が痛むのだが、何か良い薬はないか。	H2ブロッカーを勧め、2、3日服用して胃の痛みが治まらないようであれば医師の診察を受けるように勧める。
20-30	男	胃が痛み、便が黒い。ガスター（10）を服用しようか考えているのだが大丈夫か。	一般用医薬品で対応する状態でないことを説明し、すぐに医療機関を受診するよう伝える。胃潰瘍が発見され入院された。
20-30	男	胃に少し痛みがあるのだが、何か良い薬はないか。	空腹時に痛むかどうかを尋ねると、夜中に特に痛むとのこと。腎障害、肝障害、心疾患の有無等を確認し、ガスター（10）を勧めた。服用しても良くならない場合には医師の診察を受けるように勧める。
40-50	女	食べ過ぎで胃腸薬が欲しい。何か良い薬はないか。良く効くと言われるガスター（10）はどうか。	症状を聞き、ガスター（10）よりも健胃消化薬成分の胃腸薬で様子を見るように伝える。
40-50	女	胃の薬を飲みたいのだが、ガスター（10）などはどうか。	ガスター（10）について注意事項などを説明した上で販売。
20-30	不明	胃が急に痛み出した。以前医療機関で胃炎と診断されたことがあるのだが、今日は病院に行く時間がない。何か良い薬はないか。	以前医療機関でガスターD（20）mgで治療を受けていたということから、ガスター（10）を紹介し、早期に医療機関で診察を受けるように促す。
40-50	男	胸焼けや胃の不快感、胃痛などがあるのだが、どのような薬を選べば良いか。	症状を聞き、H2ブロッカーではなく、胃粘膜保護の作用のある胃薬を勧める。
60-70	男	胃が時々痛むので、何か良い薬を選んで欲しい。	症状を聞き、服用している薬がないことを確認した上でH2ブロッカーの胃腸薬を販売。
20-30	男	空腹時に胃が痛むのだが、何か良い薬はないか。	症状を聞き、ガスター（10）を勧め、2、3日服用し、胃の痛みが治まらないようであれば医師の診察を受けるように勧める。
40-50	男	胸焼けがするのだが、何か良い薬はないか。一般用医薬品のガスター（10）はどうか。	医療機関からセルベックスを処方され、常用されていたので、同じかかりつけ医に相談するように促す。
40-50	男	数日前から胃が痛んで、家にある胃薬を飲んでしたが、まだ改善されない。何か良い薬はないか。	服用した胃薬が消化薬であることを説明し、症状からH2ブロッカーを勧めるが、この薬を飲んで痛みが治まらないようであれば医師の診察を受けるように勧める。
40-50	男	胃が痛むので医療機関に行きたいが、行く時間がない。	ガスター（10）を販売し、使用上の注意を説明、併せて医師の受診を勧めた。
40-50	男	医療機関からガスターD（20）mgを処方されていたが、症状も軽くなり通院が面倒になってしまったので一般用医薬品のガスター（10）が欲しい。	一般用医薬品のガスター（10）では症状改善を維持できないことと、市販されているガスターでは使用目的が違うことについても説明。再度通院することを勧める。
60-70	女	時々、胃痛やむかつきがあり胃酸が出やすい体質なのだが、何か良い薬はないか。	症状を聞きH2ブロッカーを紹介。使用方法等の注意をし、頓服薬として使用するよう説明。

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	女	胃痛、不快感が続き食欲がない。胃潰瘍の前兆ではないかと心配なのだが、知人にガスター（10）を勧められた。胃痛を早く抑えたいので何が良いか教えて欲しい。	仕事上のストレスが原因なのが明らかだったため、ガスター（10）は胃炎も修復するが急な胃痛を抑える薬ではないことを説明し、ロートエキスの入っている制酸剤入りの薬を試してもらうよう紹介。胃痛を和らげる薬であり、根本的な治療ではないことを説明し、医師の診察を受けるよう勧める。
40-50	男	みぞおちが痛いのだが、何か良い薬はないか。	症状を聞くと痛みは2～3日前からあるとのこと、他に服用している薬もないことを確認し、ガスター（10）を勧める。症状が改善しない場合は医療機関を受診するよう伝える。
20-30	男	胸焼けがすることが多く、空腹時などに胃がキリキリと痛くなる。何か胃がすっきりするような胃腸薬が欲しい。	数週間前から症状が続いているようで、H2ブロッカーを頻繁に服用していることが判明。胃粘膜が荒れ、潰瘍になっている可能性があることを説明し、医師の受診を勧める。
40-50	男	ガスター（10）が欲しい。	2、3日服用しても改善がないとのことであるので販売せず。医師の受診を勧める。
40-50	男	十二指腸潰瘍を繰り返し、また胸焼けがするので再発したのかもしれないのだが、何か一般用医薬品で良い薬はないか。医療機関からは時々H2ブロッカーを処方されていた。	医療機関での検査を勧め、医師に症状を相談するように伝える。
40-50	男	胃が痛いので、とにかく痛みがとれる薬が欲しい。	症状を聞き、胃痛以外にも胃酸過多等の症状があることが判明。H2ブロッカーを勧める。
40-50	男	十二指腸潰瘍の既往歴があるのだが、最近胃部不快感があり、たまに痛みも伴うことがある。何か一般用医薬品で対応可能な薬はないか。	以前ガスター（10）を服用して症状が改善したとのこと販売するが、併せてかかりつけ医師への受診を勧める。
60-70	男	胸焼け、もたれがあるのだが、テレビのCMをみてガスター（10）が効きそうなので売って欲しい。	症状を詳細に聞き、H2ブロッカーが決して適していないことを説明。代わりに制酸剤を勧める。
20-30	女	胃が痛いのでガスター（10）を服用したい。	ガスターは胃痛を抑える薬というよりは胃酸を抑制する作用の薬であることを説明。胃痛の原因についても胃酸過多による胃痛や潰瘍による胃痛などもあることを説明し、医師の受診を勧める。
40-50	男	空腹時に胃が痛み、医療機関に行くとガスターD（20）mgが処方されたのだが、一般用医薬品で違う薬を服用してみたい。現在ガスターは服用していない。	ガスター（10）についても紹介するが、タバコを吸われる方だったので、喫煙過多による胃への弊害を説明。胃粘膜修復剤、制酸剤の成分が配合されているイノングリーンを勧める。
40-50	男	胃痛と胃酸の逆流があり、困っている。血圧も高めで落ち着きがない状態になっているのだが、何か良い薬はないか。	医師の受診を勧め、一度検査することを促す。ガスター（10）を求められたが、近隣の内科医を紹介する。
40-50	不明	キャベジンをずっと服用していたのだが、胃がすっきりしない。ガスターを服用しようと思うのだが大丈夫か。	症状を良く聞くと、以前に胃潰瘍をときどき繰り返していたとのことなので、医療機関を紹介。
40-50	男	胃酸過多なのだが、山之内製薬のマーロックスは置いてありますか。もしくは違う胃薬で胃酸を抑えるものが欲しい。	症状を聞いて、ガスター（10）を紹介し、服用しても症状が改善しなければ直ちに医師の受診をするように説明。
40-50	男	ガスター散剤を服用しているが、症状が良くならない。何か一般用医薬品で対応できる薬はないか。	医師の受診を勧める。
40-50	男	明け方と空腹時に胃痛がするので、胃薬が欲しい。	詳しく症状を聞き、一般用医薬品のガスター（10）を販売するが、胃炎、胃潰瘍かもしれないので時間を作り医療機関を受診するよう勧める。
40-50	男	胸焼けに以前より長期にわたりガスター（10）を服用していたが、何か他の薬はないか。	ガスター（10）は長期に服用せず、症状が改善しない、あるいは悪化しているようであれば、早期に医療機関を受診するよう促す。

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	男	ガスター（10）が欲しい。	話を聞くと、PPI（プロトンポンプインヒビター）を服用していたが、半年間程医療機関を受診していないとのことだったので、医師の受診を勧める。
40-50	男	朝から胃が痛むのだが、何か良い薬はないか。	症状を確認した上で、H2ブロッカーを勧め、2、3日服用しても胃の痛みが治まらないようであれば医師の診察を受けるように勧める。
40-50	男	太田胃散を服用しているのだが、時々胸やけがして胃も痛む。知人からガスター（10）が良いと聞いたので併用したい。	ガスター（10）について説明し、6錠入りを販売。医師への受診を促す。
20-30	男	数年前に胃潰瘍で通院しており、しばらくの間は薬も何も服用せずに調子が良かったのだが、ここ数日、胸やけや胃痛、もたれ等が少しある。何か良い薬はないか。	よく症状を聞くと、胃痛、胃もたれの原因として胃酸過多が考えられたので、胃酸を抑えるH2ブロッカーを勧める。
40-50	男	胃酸が多く出ている感じがするので、ガスター（10）が欲しい。	あまりに症状がひどいようなので、一般用医薬品のガスター（10）よりも効果の強い薬があることなどを説明し、一度医師の受診を受けることを勧める。
40-50	男	胃が痛み、胃酸が多く出ている気がする。	ガスター（10）を勧め、2、3日服用し、胃の痛みが治まらないようであれば医師の診察を受けることを勧める。
20-30	女	2、3日前から胃痛がひどいので、とにかく一番効く薬が欲しい。	医療用と同じ成分であることを説明し、ガスター（10）を勧める。服用しても改善しない場合は、すぐに医師の受診を勧める。
40-50	女	胃が重苦しくて痛い。前に一般用医薬品のパンクターゼ錠Aを服用したが、症状が改善されなかったので、もう少し強い薬が欲しい。	医師への受診を勧める。受診までの間の薬として、他に薬を服用されていないかなどを確認した後、ガスター（10）を販売。服用間隔や長期服用に関する注意事項を説明。
20-30	男	空腹時に胃痛がするので、胃薬が欲しい。	他の症状を確認し、H2ブロッカーを勧め、改善しない場合は医療機関を受診するよう説明。
40-50	男	胃痛、胸焼けの症状が続き、食事もあり進まないで、何か良い薬が欲しい。	体調のバランスが崩れ、胃酸過多になっている様子。症状等を確認し、ガスター（10）を勧める。
20-30	男	食後、2時間位してから胃のあたりに疼痛がある。現在保険に加入していないので、一般用医薬品のガストールを服用しているのだが、他に何か良い薬はないか。	症状を確認し、ガスター（10）を紹介。併せて食事療法の説明をする。但し、症状が改善しない場合には、医師を受診するよう勧める。
不明	男	空腹時に腹痛があるので適切な薬を教えてください。	症状を聞き、胃カメラによる検査を勧め、受診までの服用分としてガスター（10）を販売する。
20-30	不明	以前胃潰瘍を患ったことがあるが、最近胃もたれや空腹時の胃痛に悩んでいる。ガスター（10）とガストールのどちらを服用するべきか。	早めに医療機関を受診するように勧め、それまでガスター（10）で対応するように説明する。
40-50	男	アルコールを飲む前に服用するならガスター（10）とサクロンのどちらがよいか。	特にその他の症状がなければサクロンを服用するように説明する。
60-70	女	春と秋になると胃の調子が悪くなり、特に朝方気持ちが悪くなる。何かよい薬を紹介してほしい。	ガスター（10）を勧め、服用後改善しないようであれば医療機関を受診するよう説明する。
60-70	男	胃痛がひどく食事ができないのだが、何かよい薬はあるか。	話を聞くと、整形外科からの鎮痛薬を1年以上服用しているとのことなので、医師に相談するように勧める。また、すぐに服用できる薬を求められたため、ガスター（10）を販売。その後医療機関を受診した際にはPPIと胃粘膜防卸因子の胃薬が処方されている。
40-50	男	時々胃の痛みがあり、これまで一般用医薬品のガスター（10）を常用しているので、今回も購入したい。	一度も医療機関を受診したことがないとのことなので、早めに受診するように勧める。

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	女	胃痛がする時にガスター（10）を服用している。年1回の検診で胃炎があると言われたが、このまま服用してよいか。	ガスター（10）は、服用したりしなかったりすることは、良くないことを説明し、一度きちんと検査を受けるように勧める。
40-50	男	胃部に不快感があるのだが、適切な薬を選択してほしい。	胸やけの症状が強いようなので、H2ブロッカーの服用を勧め、アルコールは控えるように説明する。
40-50	男	胃痛に効く薬がほしい。	ガスター（10）を服用しても改善しなかったとのこと。すぐに医療機関の受診を勧めたが、多忙で受診できないとのことで、受診について強く確認した後、鎮痛作用のある胃腸薬を販売する。
40-50	男	特に空腹時に胃痛・腹痛があるのだが、何かよい薬はないか。	空腹時、特に明け方に痛む場合は、胃の粘膜が荒れていると思われることを説明。胃粘膜保護剤、H2ブロッカーそれぞれの特徴を説明し、その結果、ガスター（10）を販売。症状を繰り返す時は、そのまま服用し続けずに医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	観光にきているのだが、空腹時に胃が痛むので薬がほしい。	朝食を摂らずに冷えたコーヒーを飲む習慣をまず止めるように話す。H2ブロッカーを販売することも考えたが、症状が隠されてしまう可能性を想定し、健胃薬を紹介して、地元に戻ったらすぐ医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	朝1回服用の胃薬を処方されているが、胃痛が治まらないので何か別の一般用医薬品を服用したい。	話の内容から、処方されている薬はPPIかH2ブロッカーであると思われるため、一般用医薬品は販売せず、早めに医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	胃痛・むかつきがあるのだが、適切な一般用医薬品を紹介してほしい。	併用薬、医療機関への受診はなく、H2ブロッカーを勧める。H2ブロッカーの説明パンフレットを見せながら説明し、商品と一緒に同封。3日間服用し、症状の改善がない場合は当店又は医師に相談するように勧める。
60-70	女	胃のむかつきと痛みがある。テレビコマーシャルで見たH2ブロッカーを購入したい。	話を聞くと、抗リウマチ薬を服用しているとのことなので、よく説明をして他の薬を勧める。
40-50	男	胃のむかつき、痛み、胃酸が逆流する感じがあるのだが、何かよい薬はないか。	症状をよく聞き、ガスター（10）を勧める。1回服用してから5時間経っても症状が治まらないときはもう1回服用し、それでも症状が続く時には医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	胸やけに効く薬がほしい。	ガスター（10）を勧める。服用しても症状が改善しない場合は医療機関を受診するように説明する。
40-50	女	痛みのある胃炎なのだが、何かよい薬はないか。	H2ブロッカーの服用を勧め、2、3日服用しても胃の痛みが治まらないようであれば、医師の診察を受けるように勧める。
40-50	女	胃がしくしく痛むのだが、よい薬はあるか。一般用医薬品のガスター（10）は何故2週間以上続けて服用してはいけないのか。	話を聞くと、医療機関からガスターD（20）mg及びセルベックスを処方されているとのこと。医師の診断のもと処方であるので、今の状況では新たな薬を追加しない方がよいことを説明し、医師に相談するように勧める。また、長期間一般用医薬品のガスター（10）を服用すると、胃がんによる症状を隠してしまい、医療機関への受診の機会を失わせてしまう恐れがあるため、注意が必要であることを説明。

平成16年度「薬と健康の週間」中の任意の1日に薬局・薬店で受けた  
H2ブロッカーに関する質問・相談

《剤型について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
60-70	女	ガスター（10）には錠剤の他に散剤はないのか。	散剤を紹介する。

《副作用について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
20-30	男	胃がシクシク痛み、医療機関を受診したら胃潰瘍でガスターを処方された。服用したところ、目眩と頭重感があった。これは薬の副作用か。	ガスター（10）による副作用も考えられるので、診察を受けた医師に相談するよう勧める。受診までの症状緩和のために胃の粘膜を保護する薬と胃酸を中和する薬を紹介。
60-70	女	ガスター（10）を他の薬局で購入し服用したところ、胃がキリキリして痛い。これは薬の副作用か。	服用をやめて医療機関の受診をするよう勧める。
40-50	男	ガスター（10）を服用し続けていたら夜寝た後2～3時間後に目が覚めてしまうようになってしまった。これは薬の副作用か。	服薬のせいかわからないが、とりあえず服用を中止し、様子を見るように奨め、消化器内科への受診を勧める。
60-70	女	H2ブロッカーを服用してから夜中に家の中をウロウロして急に我に返ることがあるのだが、薬の副作用か。	すぐに服用を中止し、内科医を受診するように伝える。
40-50	女	H2ブロッカーを服用した後に発疹が出た。	医療機関の受診を勧める。
60-70	女	友人からガスター（10）は服用しない方がいいと言われたのだが、その理由について教えて欲しい。現在、医療機関からガスターD20mgを処方され服用している。	ガスターの効能・効果、作用について説明。副作用についても説明し、服用に関しての不安を解消して頂いた。
40-50	男	ガスター（10）を長期に亘って服用しているが問題はあるか。	医療機関を受診し、医師とよく相談するよう勧める。

《高齢者の服用について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
60-70	男	高齢になってから空腹時に胃の疼痛や、胸焼けがするようになり、友人に勧めもらったガスター（10）を服用している。副作用もないためこのまま服用を続けても良いか。良いのなら今日購入したいのだが。	ガスター（10）の使用上の注意を説明し、医師の受診を勧める。調子が良くとも自身の判断で服用をしないように伝え、ガスター（10）の販売はせず。
80-	男	胃痛でH2ブロッカーを服用したい。	80歳以上の高齢者は服用できない理由を説明。

平成16年度「薬と健康の週間」中の任意の1日に薬局・薬店で受けた  
H2ブロッカーに関する質問・相談

《相互作用について(併用を含む)》

年齢	性別	薬局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
60-70	女	ヘルベッサ、ブルゼニド、デパス、アイトロール、アルタットを服用しているのだが、胃の調子が悪いので、一般用医薬品のガスター(10)を併用しても大丈夫か。	アルタットもガスター(10)もH2ブロッカーであることを説明。
40-50	女	ガスターD錠(10)mgの処方を受け、朝夕の2回服用しているのだが、胃痛が昨日から続いている。一般用医薬品で何か良い薬はないか。一般薬のガスターを併用しても良いか。	同じ成分を重複して服用するべきではないことを説明し、診察した医師に相談するよう勧める。
60-70	不明	医療機関でセルベックスを処方されているのだが、最近胃が痛むのでガスター(10)が欲しい。	一般用医薬品の風邪薬であるプレコールを服用しており、医師の受診を勧める。ガスター(10)は販売せず。
80-	女	胸焼けでオメプラール(20)1錠を服用しているのだが、一般用医薬品のガスター(10)の方が良く効く感じがする。このままオメプラールを飲まずにガスター(10)を飲み続けても良いか。	効果的にはオメプラールの方が薬効作用が強いことと、処方薬の服用を優先することを説明。さらに、医師にも症状について相談するよう勧める。
60-70	女	医療機関にてガスター、ベリチーム、マーズレンSを処方されているのだが、胃がもたれているような感じがするので何か良い薬はないか。テレビでCMしている市販のガスター(10)を併用してみたいのだが。	処方されている薬の中に胃の具合を改善する薬が入っていることを説明。症状が改善しないならば処方医に相談するよう勧める。薬の販売はせず。
60-70	男	一般用医薬品のガスター(10)を服用しているのだが、医療機関からも胃薬を処方されている。併用していても大丈夫か。	手持ちの薬を調べたところ、医療機関でガスターD(20)mgが処方されていた。薬効が重複するため併用しないように伝える。
40-50	女	血圧降下剤を飲んでいるが、何か胃薬が欲しいので併用しても大丈夫な薬を選んでほしい。キャベジンなどはどうか。	キャベジンにはNaが含まれているので勧められないことを説明し、症状からH2ブロッカーが適していると判断し、ガスター(10)が胃酸を抑える薬効があり、良いのではと紹介。しかし、ガスター(10)でも血圧を上昇させる副作用が発生する可能性があることから、血圧が上がったならば即時に服用を中止し、医療機関を受診するよう伝える。
40-50	男	風邪気味で鼻炎になっている。医療機関からはガスターが処方されているのだが、薬は併用しても良いか。	胃に負担の少ない薬を紹介。
40-50	男	ずっと胃の重苦しさがあるのだが、仕事上毎日お酒を飲んでいる。医療機関より胃薬を処方してもらっているが、他に併用できる薬はないか。H2ブロッカーが良いのか。	一時的に痛みを抑える薬は一般用医薬品にもあるが、医療機関を受診しているとのことなので、かかりつけ医への相談を勧める。
40-50	男	現在、耳鼻科より漢方薬とメチコパールを処方されている。胃の調子が良くないので何か併用できる薬はないか。ガスター(10)はどうか。	症状を聞くと、軽くもたれている感じがすることなので、消化剤を勧める。
40-50	男	医療機関からガスターを処方されているのだが、最近胃痛がするのでいつでも服用できるストッパ胃腸薬を併用しても良いか。	ストッパ胃腸薬は生薬を主成分とした製剤でありケイヒ、ウイキョウ、アルジオキサ(粘膜修正剤)、炭酸マグネシウム(胃の運動促進)、合成ヒドロタルサイト(制酸剤)を含有していることを説明し、一時的な併用は良いが症状が数日経っても改善されない時は中止するよう伝える。医師の受診を勧める。
40-50	男	一般用医薬品の鼻炎薬とガスター(10)と一緒に服用しても良いか。	問題はないが、ガスター(10)は夜眠る前に服用することが効果的であることを説明。
40-50	女	一般用医薬品のガスター(10)を服用しているが、今回一般用医薬品の解熱・鎮痛成分を含む風邪薬を購入し、併用しても大丈夫か。	解熱・鎮痛薬には胃に刺激の強い成分が含まれていることもあるので、副作用に注意するよう説明する。
60-70	女	一般用医薬品のガスター(10)を服用しているのだが、ロキソニンも服用しても良いか。	胃の状態が悪い場合、ロキソニンの服用を控えた方がよいことを説明し、処方した医師にも相談するよう勧める。



《相互作用について(併用を含む)》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	男	お酒を飲むと胃痛がし、ガスター(10)を服用すると悪酔いするのだが薬の影響か。	アルコールとH2ブロッカーの併用は止めるよう注意する。胃粘膜保護作用の薬を勧める。
60-70	女	一般用医薬品のガスター(10)と降圧剤の併用は大丈夫か。	特に問題はないと回答。
60-70	男	医療機関の処方薬の胃薬を服用しているのだが、少し胃に不快感がある。何か良い胃薬はないか。	医療機関から処方されている胃薬をみたとこ ろ胃粘膜保護作用の薬とH2ブロッカーが処方 されていたので販売の必要はないと判断し 販売はせず。食生活やストレスからの胃への 悪影響について説明。
60-70	男	胃の痛みがひどいので、ガスター(10)が欲しい。	医療機関から心臓の薬を服用しているとのこ となので、ガスター(10)は勧められないこ とを説明。粘膜保護剤主成分の胃薬を勧め、 しばらく服用しても治らない時は医療機関の 受診を勧める。
60-70	女	降圧剤、高脂血症薬を服用しており、胃痛が するので医師にプロトンポンプ阻害薬を処方 して併用しているのだが、便秘がひどくな り、ガスター(10)に変えようと思うのだが 良いか。	再受診を勧める。
60-70	女	一般用医薬品のガスター(10)を処方薬と併 用しても良いか。	お薬手帳を確認し、併用については問題がな いことを説明。次回他の薬局等で購入する際 もお薬手帳を薬剤師に提示するよう勧める。
60-70	女	医療機関から糖尿病と高血圧、胃炎の薬を処 方されているが、胸焼けがするので消化剤が 欲しい。何か併用しても良い薬はないか。H 2ブロッカーが良く効くと聞いたがどうか。	医療機関から処方された薬を見ると、H2ブ ロッカーが処方されていたが、服用をしてい ない様子であった。一般用医薬品のガスター (10)を販売せず、処方薬を服用するよう説 明する。
20-30	不明	腰痛で医療機関に通院しており、処方されて いる痛み止めを服用している。2日ほど前か ら風邪の症状があり、風邪薬を併用したら胃 が痛む。ガスター(10)が欲しい。	痛み止め(ロルカム)と胃薬(マーズレン S)を処方されており、風邪薬にも消炎鎮痛 剤が含まれていることを説明。ガスター (10)の服用は必要ないことを説明する。
40-50	男	胃痛をなんとかしたいのだが、どの薬を服用 すればよいか。ガスター(10)がよく聞くと 人から聞いたが、現在服用している血圧の薬 と併用してもよいか。また、どのように服用 すれば良いか。	ガスター(10)は、胃が痛いときに1回1錠 をコップ1杯ほどの水で服用し、服用後8時 間以上経っても改善しない場合はもう1錠服 用する。但し、1日2錠までの服用に留め、 症状が治ったら服用を止めるように説明す る。また、3日間服用しても改善しない場合 は医師に相談し、2週間以上服用しないよ うに注意する。また、血圧の薬と併用しても 問題はないが、まれに血圧を上昇させる可 能性があることを説明する。
40-50	男	ガスター(10)を服用したい。血圧の薬を処 方されているが、併用しても問題ないか。	ガスター(10)が現在の症状に合っているか を確認し、血圧の薬と併用しても問題ないこ とや用法・用量について説明する。

平成16年度「薬と健康の週間」中の任意の1日に薬局・薬店で受けた  
H2ブロッカーに関する質問・相談

《用法・用量について》

年齢	性別	薬局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	不明	ガスター（10）は食後に服用した方が良いのか。	症状が出たときに服用することを説明。
20-30	男	H2ブロッカーを連用していても良いか。	改善が見られなければ医師の診察を受けることを勧めた。
40-50	男	ガスター（10）を連用しているのだが、胃痛の症状が改善されないので、服用量を増やしても良いか。	増量せずに胃腸科を受診することを勧める。
40-50	男	一般用医薬品のガスター（10）は長期間服用しても大丈夫か。	自己判断での長期間の服用は避け、医師への受診をするよう説明。
60-70	男	ガスター（10）の粉の剤型で一番量が入っているものが欲しい。	購入に際し理由を訊ねたところ、1日10杯ほどコーヒーを飲んでおり、ガスター（10）を連用しているとのこと。症状を聞くと、便が黒いとのことなので、潰瘍など、消化器官からの出血の可能性があることを説明し、医師への受診を勧める。
20-30	男	ガスター（10）を1回に2錠服用してもよいか。	話を聞くと、以前は医療機関からガスターD（20）mgを処方されていたが、多忙で受診できず一般用医薬品で対応しているとのこと。できるだけ時間を作って受診するように勧める。
40-50	男	家族が医療機関でガスターD（20）mgを処方されて朝晩服用しているのだが、一般用医薬品のガスター（10）を2錠服用するのと同じか。また、服用はこれからもずっと続けてよいか。	医師の判断による処方であるので、自己判断で一般用医薬品を服用しないように説明。また、処方薬については、医師が症状をみて、用法・用量を決めているので、勝手に服用をやめるべきではないことを説明。

平成16年度「薬と健康の週間」中の任意の1日に薬局・薬店で受けた  
H2ブロッカーに関する質問・相談

《効能・効果、有効性について》

年齢	性別	薬局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
60-70	女	現在医療機関でH2ブロッカーを処方され、服用しているのだが、食後の膨満感や食欲不振などで悩まされている。以前、一般用医薬品で服用していた胃薬は効果があった気がするのだが、2つはどのように効果が違うのか教えて欲しい。	H2ブロッカーの薬理作用を説明し、食物の消化作用や食欲増進の作用はないことを説明。薬剤の併用については医師にも相談するよう勧め、それまでの処置として消化剤や防御因子強化剤を主剤とする一般用医薬品で併用できる薬を紹介。
40-50	男	急に胃が痛くなってきたのだが、ガスター(10)を服用すれば治るか。	症状を詳しく聞き、ガスター(10)を販売。ガスター(10)を服用しても治らない場合は医療機関を受診するよう伝える。
40-50	女	胃の調子が悪くなり、医療機関で香蘇散、アズレン顆粒、ニチカイン顆粒、ファモチジン散を処方されたが、どのような薬なのか詳しく説明してもらいたい。市販のガスター(10)とファモチジン散はどちらが効果があるのか教えて欲しい。	ファモチジン散(2%)と(10%)とガスター(10)の内容成分量について説明する。
40-50	男	医療機関よりガスター(10)が処方されているのだが、時間がないので同じような薬を一般用医薬品で欲しい。	一般用医薬品にガスター(10)があるので、同じ薬が良いと考え、ガスター(10)を勧める。更に、時間を作って医師への受診を促す。
40-50	女	ガスター(10)よりももう少し弱い薬が欲しい。	胃酸分泌抑制と胃粘膜保護作用のある別の一般用医薬品のサンプルを渡した。
20-30	女	ガスター(10)の効能・効果についてと、今の胃の症状からどのような薬を選べばよいか教えて欲しい。	症状が食後のもたれ、胃部膨満感程度であるということから、ガスター(10)を服用するほどでもないことを伝え、胃痛・もたれに効く薬を勧めた。
40-50	男	H2ブロッカーを連用していて最近効きが悪い気がする。何か一般用医薬品を服用すべきか。	胃腸科の受診を勧めた。一般用は販売せず。
60-70	男	医療機関からガスターを処方されているが、これを服用せずに太田胃散を服用している。すっきりして気持ちも良いので太田胃散が欲しい。	医師の判断で薬が処方されていることを伝え、医師に相談し、薬を変えてもらうか、ガスターを飲んで様子を見るかのどちらかにするよう伝える。
40-50	女	逆流性食道炎でタケプロンを服用しているのだが、一般用医薬品で似たような効能の薬はないか。ガスター(10)では代用できないか。	話を聞くと、既に他の薬店でガスター(10)を購入し、併用しており、ガスター(10)は販売せず、医療機関の受診を勧める。
40-50	男	医療機関でガスター(10)を処方されているが、忙しくて医療機関に行けないので一般用医薬品のガスター(10)が欲しい。	ガスター(10)を販売するが、早めにかかりつけの医師の受診をするよう勧める。
60-70	女	医療用医薬品のアムロジン、ガスターを併用しているのだが、医療用のガスターがなくなってしまった。一般用医薬品で同じような効能の薬はないか。	医師にかかるまでの数日間の使用ということでガスター(10)を販売。
40-50	女	忙しく医療機関を受診できないので、処方されているガスターD(20)mgと同じ効果の一般用医薬品が欲しい。	ガスター(10)6錠入りを紹介するが、mg数が違うので同等の効果があるわけではないことを説明。早期に医療機関を受診するように奨め、決して2錠ずつ服用することはないように伝える。
20-30	男	以前ガスター(10)を服用していた。服用している間は調子が良かったが、服用をやめたら胃痛がする。H2ブロッカー以外で何か良い薬はないか。	別の胃薬を紹介し、症状が改善されない場合は医師の受診をするよう勧めた。

《効能・効果、有効性について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	男	医療用医薬品のガスターと同じものが欲しい。	心疾患、腎疾患、肝疾患、併用薬などがないことを確認し、服用上の注意を説明した上で、一般用医薬品のガスター（10）を販売。
20-30	男	医師からガスターD（20）mgを処方されているが、一般用医薬品で同じ効能のあるものはないか。	一般用医薬品では、成分量が半分（10）があることを説明するが、医師に相談するよう勧める。
60-70	女	胃に不快感があり、ガスター（10）を就寝前に服用しているが、あまり眠ることができない。もっと良く眠れる薬はないか。	話を聞くと、夜間の胃の不快感をなくし、すっきりして眠るためにガスター（10）を服用しているとのこと。ガスター（10）の効能を改めて説明し、睡眠効果はないことを伝える。
40-50	男	医療用医薬品のガスターと一般用医薬品のガスター（10）は同じものか。	同一成分だが、含有量に違いがあることを説明。一時的にガスター（10）を服用するのはよいが、症状が長期間に亘る場合は、医療機関を受診するよう勧める。
40-50	男	医療機関からガスターの処方を受けているが、忙しくて受診する時間が取れないので、一時的に一般用医薬品のガスター（10）を服用したい。効能・効果は同じか。	同一成分だが含有量に違いがあることを説明し、受診までの当面の分を販売する。
40-50	不明	家族からガスター（10）を購入するように頼まれている。以前に医療機関からも処方されていたようなのだが、どういう薬なのか教えてほしい。	効能・効果の説明をし、何回も服用するような時にはかかりつけの医師に相談することを勧める。
40-50	女	胃炎でガスターD（20）mgが処方されているが、一般用医薬品のガスター（10）とは何が違うのか。手持ちの処方薬がなくなった際に一般用医薬品で代用しているが問題ないか。	ガスターD（20）mgとガスター（10）は、成分は同じだが使用する目的が異なることを説明。基本的には処方された薬を指示通り服用するように話す。
20-30	女	以前はガスターD（20）mgを処方されていたのだが、忙しくて受診する時間がない。何かよい一般用医薬品はないか、	ガスターD（20）mgを服用している時も症状が不安定であったとのこと。早めに医療機関を受診するよう勧め、とりあえず服用する分のガスター（10）を販売する。
40-50	男	ガスター（10）と他の胃薬との違いは何か。	他の胃薬が胃を守ったり、胃酸を中和する作用があるのに対し、ガスター（10）は胃酸を抑えることによって症状を緩和することなどを説明。
20-30	男	以前ガスターD（20）mgを処方されていたが、一般用医薬品のガスター（10）とどう違うのか。	含有量の違いなどを説明。併用薬がないことを確認し、まず6錠の小包装を勧める。1箱使用しても症状が改善しない場合は、医師の診察を受けるように説明する。
40-50	男	医療機関から処方されていたガスターD（20）mgは服用し終えてしまったのだが、まだ胃痛がある。一般用医薬品のガスター（10）を服用すればよいか。	自己判断の服用は胃潰瘍を増悪することもあることを説明し、早めに医療機関を受診するよう促して当分の量のガスター（10）を販売する。
40-50	女	ガスター（10）は副作用が怖いので、別の胃腸薬を服用しているが、症状が改善しないように感じる。どうすればよいか。	副作用の概念と、ガスター（10）の使用上の注意について説明する。
60-70	女	食べ過ぎた時にガスター（10）を服用しているが、胃もたれや胸やけに効果はあるのか。	話を聞くと、H2ブロッカーを服用するほどではないと考えられていたため、健胃生薬配合の胃腸薬を勧める。

平成16年度「薬と健康の週間」中の任意の1日に薬局・薬店で受けた  
H2ブロッカーに関する質問・相談

《使用上の注意について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	男	胃のあたり（みぞおちのところ）がおかしな感じがする。1年以上このような状態が続いている。一般薬のガスター（10）を1年くらい連用しているのだが良いか。	以前に医療機関の診断でストレス性の胃炎ではないかと言われたらしく、ガスター（10）は服用すると胃痛が治まるので連用していたとのこと。しかし、H2ブロッカーの説明を行い、連用は好ましくないことを伝える。
40-50	男	H2ブロッカーが欲しい。	話を聞くと、市販のガスター（10）を長期に連用をしていることが判ったため、内科の受診を勧める。
40-50	女	ガスター（10）は良く効くが、服用をやめるとまた症状がぶりかえす。続けて服用していても良いのか。	基本的に3日服用して症状が取れなければ医療機関で診察を受けることを説明。原因が他にある可能性が高いため、医療機関での受診を勧める。
40-50	男	ガスターを服用しないと痛みが止まらないのだが、どのような対処をとれば良いか。	炎症がひどくなっていると思われるので、医師の受診を勧め、検査をするよう促す。
40-50	男	ガスター（10）をもう何年も自己判断で服用しているのだが大丈夫か。	自己判断での服用は好ましくない旨を説明し、念のために医師の受診を勧める。
40-50	女	ガスター（10）を大量に購入したい。服用歴は半年くらいだが、更に強い薬があれば、それが欲しい。	内科受診の必要性を説明する。
40-50	男	ガスター（10）を売って欲しい。	昨日も買われたので理由を聞くと、用量・用法を守らず、お酒と一緒に服用しているとのことなので販売はせず。
40-50	男	ガスター（10）をリポビタミンDで服用してもよいか。	医薬品は水か白湯で服用するように説明。

《その他》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
20-30	女	ガスター（10）を売っていない薬屋があるが、なぜか。また、ガスター（10）はお酒を飲み過ぎたときに服用するものなのか。	胃酸が出過ぎて胃を荒らしてしまった時や胃が痛いときに服用する薬であることを説明する。また、以前は処方せんでのみお渡ししてきた薬なので、薬剤師のいない薬屋さんでは取扱いができない旨を説明する。

## 参考

### 「薬と健康の週間」における全国統一事業の結果（概要） （平成15・16年度対比表）

#### ・薬局・薬店における事業（一般用医薬品販売時の“薬剤師の相談業務”に関するデータ及び相談事例の収集）

##### （1）結果の概要

	平成16年度	平成15年度
参加薬局・薬店数	7,563	7,297
1日あたりの一般薬購入者数	145,989	135,555
一般薬購入者数のうち相談・質問者の数	40,571	39,940
全国の薬局・薬店での1日の購入者数（推定値）	119万7千人	113万人
そのうち、一般薬を購入し、相談・質問を行った人数（推定値）	33万3千人	33万人

（注）薬店は「一般販売業」のみ。以下同じ。

##### （2）一般用医薬品に関する相談・質問の内容別内訳（複数回答）

	平成16年度	平成15年度
医薬品の選択	27,554(41.0%)	29,618(44.8%)
効能・効果、有効性	8,255(12.3%)	9,250(14.0%)
用法・用量について	6,549(9.8%)	7,908(12.0%)
相互作用について	5,275(7.9%)	3,735(5.7%)
副作用について	3,390(5.0%)	3,775(5.7%)
漢方薬について	3,185(4.7%)	3,146(4.8%)
使用上の注意	2,924(4.4%)	3,705(5.6%)
剤型について	2,882(4.3%)	-
高齢者の服用	1,706(2.5%)	1,530(2.3%)
乳幼児・小児の服用	1,687(2.5%)	-
妊婦・授乳婦の服用	947(1.4%)	891(1.3%)
有効期間について	922(1.4%)	978(1.5%)
たばこ・禁煙	784(1.2%)	-
その他	1,097(1.6%)	1,533(2.3%)
延べ件数 計	67,157(100.0%)	66,069(100.0%)

（注）表中の[-]は平成16年度より新たに追加した項目

( 3 ) 副作用の相談のあった一般用医薬品の「薬効分類別」件数  
( 件 )

平成16年度		平成15年度	
風邪薬	169	精神神経用薬(風邪薬等)	412
解熱鎮痛剤	132		
鎮静剤	34		
その他の精神神経用薬	19		
小計	354		
外用鎮痛・消炎薬	97	外用用薬	173
その他の外皮用薬	46		
水虫・たむし用薬	38		
その他の感覚器官用薬	8		
発毛・養毛薬	6		
小計	195		
H2ブロッカー	32	消化器官用薬	86
その他の消化器官用薬	17		
その他の胃腸薬	14		
整腸薬、止しゃ薬	7		
胃腸鎮痛痙薬	3		
小計	73		
鎮咳去たん薬	58	呼吸器官用薬	51
耳鼻科用薬	42	耳鼻科用薬	36
漢方薬	34	漢方製剤	61
内服アレルギー用薬	34	アレルギー用薬	109
滋養強壮保健薬	24	滋養強壮保健薬	66
循環器用薬	19	循環器・血液用薬	63
眼科用薬	18	眼科用薬	28
歯科口腔用薬	7	歯科口腔用薬	7
うがい薬	1		
小計	8		
泌尿生殖器官及び肛門用薬	7	泌尿生殖器官及び肛門用薬	16
生薬製剤	4	生薬製剤	19
女性用薬	2	女性用薬	5
その他	84	その他	84
禁煙補助剤	6		
公衆衛生用薬	1		
一般用検査薬	0		
小計	91		
延べ件数 計	963		

( 注 ) 副作用の報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したもの

#### ( 4 ) 副作用の主な症状

( 件 )

	平成 1 6 年度	平成 1 5 年度
発疹	137	213
そう痒	96	116
便秘	66	74
眠気	66	143
ほてり・発赤	59	63
口渇	51	88
胃痛	44	86
悪心・嘔吐	34	73
めまい・ふらつき	32	52
食欲不振	27	72
排尿困難	25	37
脱力感	24	38
腹痛	22	39
下痢	20	55
動悸	19	32
むくみ・浮腫	16	34
腹部膨満感	15	23
倦怠感	15	27
口内炎	13	23
膨脹	12	10
ふるえ・振戦	12	16
頭痛	10	25
水疱	8	12
息切れ	8	7
頻脈	6	10
しびれ感	3	8
悪寒	3	12
胸部痛	2	4
発熱	0	6
発汗	0	9
その他	92	193
延べ件数 計	937	1,600

( 注 ) 副作用の報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したもの



## (5) 副作用の相談のあった一般薬の「薬効分類」と主な症状

平成16年度		平成15年度	
風邪薬(169) 解熱鎮痛薬(132) 鎮静薬(19) その他の精神神経用薬(34) 小計354	眠気(46)、発疹(45)、胃痛(29)、悪心・嘔吐(20)、便秘(20)、口渇(19)、めまい・ふらつき(19)、そう痒(16)、排尿困難(14)、食欲不振(13)、脱力感(12)、腹痛(11)	精神神経用薬(風邪薬等)(412)	眠気(72)、発疹(68)、胃痛(59)、悪心・嘔吐(38)、口渇(33)、食欲不振(32)、めまい・ふらつき(31)、便秘(27)、そう痒(26)、排尿困難(26)
外用鎮痛・消炎薬(97) その他の外用薬(46) 水虫・たむし用薬(38) その他の感覚器官用薬(8) 発毛・養毛薬(6) 小計195	そう痒(49)、発疹(45)、ほてり・発赤(40)、眠気(5)	外用薬(173)	発疹(74)、そう痒(58)、発赤(29)
内服アレルギー用薬(34)	眠気(11)、そう痒(4)、口渇(4)、発疹(2)、脱力感(2)	アレルギー用薬(109)	眠気(49)、口渇(23)、発疹(13)
H2ブロッカー(32) その他の消化器官用薬(17) その他の胃腸薬(14) 整腸薬・止しゃ薬(7) 胃腸鎮痛鎮痙薬(3) 小計73	下痢(9)、腹痛(8)、発疹(5)、悪心・嘔吐(5)、便秘(4)、口渇(4)、胃痛(3)	消化器官用薬(86)	下痢(20)、腹痛(15)、口渇(12)、便秘(11)、発疹(9)
滋養強壮保健薬(24)	発疹(6)、そう痒(3)、悪心・嘔吐(1)、下痢(1)、便秘(1)、胃痛(1)	滋養強壮保健薬(66)	発疹(13)、食欲不振(8)
循環器用薬(19)	そう痒(3)、発疹(2)、ほてり・発赤(1)、むくみ・浮腫(1)、悪心・嘔吐(1)、下痢(1)、便秘(1)、口渇(1)、めまい・ふらつき(1)	循環器・血液用薬(63)	発疹(10)、悪心・嘔吐(7)、ほてり(6)、下痢(6)、めまい・ふらつき(6)
漢方薬(34)	むくみ・浮腫(3)、胃痛(3)、頭痛(3)、動悸(3)、ほてり・発赤(2)、腫脹(2)、悪心・嘔吐(2)、食欲不振(2)、脱力感(2)	漢方製剤(61)	浮腫(9)、発疹(7)、食欲不振(7)、胃痛(7)、悪心・嘔吐(6)、下痢(6)
鎮咳去たん薬(58)	便秘(29)、口渇(7)、めまい・ふらつき(4)、発疹(3)、食欲不振(2)、眠気(2)、排尿困難(2)	呼吸器官用薬(51)	便秘(20)、発疹(6)、食欲不振(6)、悪心・嘔吐(6)
耳鼻科用薬(42)	口渇(10)、眠気(10)、便秘(2)、排尿困難(2)	耳鼻科用薬(36)	眠気(15)、口渇(8)

(注) 副作用の報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したもの

## (6) 薬剤師のとした措置(複数回答)

	平成16年度	平成15年度
使用の中止を指示	304(30.1%)	477(27.0%)
服薬指導	227(22.5%)	383(21.7%)
医療機関を紹介	177(17.5%)	153(8.7%)
治療のため他の薬を推奨	110(10.9%)	180(10.2%)
薬効の同じ他の薬を推奨	96(9.5%)	210(11.9%)
減量を指示	30(3.0%)	101(5.7%)
当該メーカーへ連絡、情報提供	19(1.9%)	48(2.7%)
厚生労働省の医薬品・医療用具等安全性情報報告制度へ報告	2(0.2%)	8(0.5%)
その他	44(4.4%)	205(11.6%)
延べ件数 計	1,009(100.0%)	1,765(100.0%)

(注) 副作用の報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したものについて薬剤師のとした措置

## ・ 薬剤師会におけるお薬相談事業の実施件数

### ( 1 ) 「お薬相談」の実施件数

H 1 6 年度	都道府県薬剤師会	支部薬剤師会	計
実施した薬剤師会	2 8 ヶ所	2 0 4 ヶ所	2 3 2 ヶ所
延べ実施回数	3 6 回	3 1 3 回	3 4 9 回
H 1 5 年度	都道府県薬剤師会	支部薬剤師会	計
実施した薬剤師会	2 3 ヶ所	2 0 2 ヶ所	2 2 5 ヶ所
延べ実施回数	4 2 回	2 7 1 回	3 1 3 回

### ( 2 ) 相談・質問の内容

	H 1 6 年度	H 1 5 年度
医薬品	3,552(69.3%)	4,023(77.6%)
健康食品	347 (6.8%)	485 (9.4%)
保健機能食品	190 (3.7%)	-
医薬部外品	70 (1.4%)	62 (1.2%)
医療用具	26 (0.5%)	35 (0.7%)
化粧品	12 (0.2%)	30 (0.6%)
その他	926(18.1%)	547(10.6%)
計	5,123(100.0%)	5,182(100.0%)

(注) 表中の [ - ] は平成 1 6 年度より新たに追加した項目

### ( 3 ) 医薬品についての相談の内訳

	H 1 6 年度	H 1 5 年度
一般用医薬品	894(25.2%)	841(20.4%)
医療用医薬品	2,551(71.8%)	2,667(66.3%)
不明	107(3.0%)	515(12.8%)
計	3,552(100.0%)	4,023(100.0%)

( 4 ) 一般用医薬品に関する相談・質問の内容別内訳 ( 複数回答 )

	H 1 6 年度	H 1 5 年度
医薬品の選択	240(17.9%)	497(24.9%)
副作用	210(15.6%)	332(16.6%)
効能・効果、有効性	174(13.0%)	280(14.0%)
相互作用について	129 (9.6%)	173 (8.7%)
用法・用量	120 (8.9%)	150 (7.5%)
漢方薬について	107 (8.0%)	119 (6.0%)
使用上の注意	58 (4.3%)	141 (7.1%)
高齢者の服用	51 (3.8%)	49 (2.5%)
たばこ・禁煙	47 (3.5%)	-
有効期間について	43 (3.2%)	41 (2.1%)
妊婦・授乳婦の服用	37 (2.8%)	33 (1.7%)
剤型について	33 (2.5%)	-
乳幼児・小児の服用	23 (1.7%)	
その他	70 (5.2%)	179 (9.0%)
延べ件数 計	1,342(100.0%)	1,994(100.0%)

( 注 ) 表中の [ - ] は平成 1 6 年度より新たに追加した項目

( 5 ) 副作用の相談のあった一般薬の「薬効分類別」件数  
( 件 )

平成16年度		平成15年度	
風邪薬	34	精神神経用薬（風邪薬等）	26
解熱鎮痛薬	23		
鎮静薬	9		
その他の精神神経用薬	10		
	小計76		
循環器用薬	11	循環器・血液用薬	7
滋養強壮保健薬	8	滋養強壮保健薬	1
内服アレルギー用薬	7	アレルギー用薬	13
H2 ブロッカー	0	消化器官用薬	8
その他の消化器官用薬	1		
その他の胃腸薬	2		
整腸薬、止しゃ薬	0		
胃腸鎮痛鎮痙薬	1		
	小計4		
外用鎮痛・消炎薬	2	外皮用薬	11
その他の外皮用薬	0		
水虫・たむし用薬	1		
その他の感覚器官用薬	0		
発毛・養毛剤	0		
	小計3		
漢方薬	1	漢方製剤	2
鎮咳去たん薬	1	呼吸器官用薬	2
耳鼻科用薬	1	耳鼻科用薬	1
眼科用薬	1	眼科用薬	4
生薬製剤	0	生薬製剤	0
泌尿生殖器官及び肛門用薬	0	泌尿生殖器官及び肛門用薬	3
女性用薬	1	女性用薬	2
歯科口腔用薬	0	歯科口腔用薬	0
うがい薬	0		
	小計0		
その他	23	その他	8
禁煙補助剤	1		
公衆衛生用薬	0		
一般検査薬	0		
	小計24		
延べ件数 計	112	延べ件数 計	88

( 注 ) 副作用の報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したもの

## ( 6 ) 副作用の主な症状

( 件 )

	平成 1 6 年度	平成 1 5 年度
発疹	27	23
悪心・嘔吐	11	5
胃痛	8	6
眠気	7	11
そう痒	6	6
しびれ感	5	2
悪寒	4	3
めまい・ふらつき	4	4
脱力感	4	3
動悸	4	2
息切れ	4	3
ほてり・発赤	3	3
食欲不振	3	4
口内炎	3	3
口渇	3	6
腹痛	2	2
発熱	2	1
頭痛	2	1
ふるえ・振戦	2	3
倦怠感	2	1
頻脈	2	0
むくみ・浮腫	1	4
下痢	1	5
便秘	1	8
発汗	1	3
水疱	0	0
膨脹	0	1
腹部膨満感	0	2
胸部痛	0	0
排尿困難	0	3
その他	4	6
延べ件数 計	116	124

( 注 ) 副作用の報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したものの